

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 3月 4日 (17:00~18:15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 管理者他 3名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	6人	5人	16人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の利用開始月の全体会議でカンファレンスを行い、支援内容の確認と統一を図る。 担当スタッフが利用開始前に家族にセンター方式 (暮らしの情報シート) の記載を家族に依頼しカルテに綴じて共有する。 2か月に1回 (奇数月)、ブログ作成担当スタッフが近況報告としてお便り (雛形を作成) を作成し、請求書と一緒に送付する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> センター方式の活用ができなかった。記載の依頼はできていても利用開始後だった。 お便りのひな型は作成されていたが、十分に周知されていなかったため、ブログ作成担当スタッフの近況報告はできていなかった。 コロナ感染防止のため全体会議は書面会議で実施したことから、新規利用者の利用開始前カンファレンスは集合形態で実施できていなかったが、事前にある情報提供書 (基本情報・ケアプラン・診療情報提供書等) で把握や周知ができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7人	5人	4人	1人	17人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6人	9人	1人	1人	17人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	10人	6人	0人	1人	17人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7人	7人	1人	2人	17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 慣れない環境で不安や戸惑いがある利用者に対しては、見守りや声掛け、傾聴、好む会話など話題転換、一緒に洗濯干しなど作業や役割行い、不安が軽減して安心できるよう関わることができている。 新規利用者の支援内容は、サイボウズや記録、連絡ファイルの活用、朝の引継ぎ、ケアマネが作成した情報提供書、会議を含めて周知と把握し共有できていた。また変わった様子があった時などは、送迎時に家族に伝えるなど情報交換すること、ケアマネと担当職員が相談や確認など情報共有できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者のサービス利用時前に情報やケアプランを確認し、サービスの目的を理解して必要な支援の対応が出来る利用者もいるが、担当以外は目的を把握しきれない利用者もいた。 急なサービス利用開始となった際、アセスメントが十分にできなかったことや新型コロナウイルス感染防止の観点から全体会議を書面会議に変更したことなどにより、ケアや対応方法など細かいニュアンスは文面では伝えきれなかったため、情報共有に時間を要することや十分にできなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の基本情報やケアプラン等、日勤業務により確認できない時は夜勤時に確認する。 ケアマネに確認事項があった時、タイミングが合わずその場で確認がとれない場合は、先延ばしにならないよう、付箋を活用して書置きする。 担当利用者を定期的に変更し、新規利用者の担当が偏らないようにする。 サービス開始1ヶ月後、ご本人に初期支援に関する満足度調査を各担当が実施し、結果を職員全体で共有する。 サービス開始前の意向確認時、家族が希望された場合、メールを使用した近況報告を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 3月 27日 (17:15 ~18:15)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 管理者他3名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	4人	2人	17人

前回の改善計画

- ・担当以外の利用者の情報やしたいことを共有できるようにするため、個別のカンファレンスの開催を全体会議で行う。
- ・知りえた情報の記録洩れがないよう、連絡ノートに情報(生活歴・趣味嗜好・現在の希望など)を書き込めるページを設け、ケアなど関わりの中で知りえた情報をメモしパソコンに記録する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・全体会議で実施していたが、コロナ感染対策の観点から全体会議は書面会議に変更したが、後日程調整し、評価月内に個別カンファレンスは月内に実施している。
- ・連絡ノートに連絡事項や注意喚起関連は載せているが、利用者の生活歴・趣味嗜好・現在の希望等の詳細な内容は記載されていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4人	8人	4人	1人	17人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4人	9人	2人	2人	17人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2人	11人	3人	1人	17人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4人	11人	1人	1人	17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・自分との関り以外にも他職員からどのような支援方法が有効だったか、上手いかなかったか等も参考にケアに当たり、関わった内容は出来るだけ詳しく記録するようにしている。またミーティングやカンファレンス、全体会議の場で有効的・必要な情報を伝えることやケアマネや担当スタッフに確認し、担当以外の利用者も情報提供や共有できている。
- ・日中や夜勤時に個別援助計画書を確認し、ニーズや目標を把握して支援している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・担当利用者は評価や個別援助計画書作成等行うため確認する機会が多く理解できているが、担当以外の利用者は確認する機会が少ないことやカンファレンスの参加機会と会わないため、目標やしたいことの把握や理解が不十分なこと。また、認知症の進行など本人の状態変化もあり、したいことに向けた関りが日常的にできていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・担当以外の利用者の目標やしたいことの把握と理解をするため、担当以外2名は目標としたいことがいつでも把握や確認できるよう、個別援助計画書とカンファレンス議事録を綴じたファイルを作成する。また、更新時は連絡ノートで周知したうえ、個別援助計画書やカンファレンス議事録は担当スタッフが綴じる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年4月9日(17:15 ~18:15)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者他3名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	3人	1人	16人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">夜勤の時にカルテを確認し、少なくとも自分の担当利用者のことを覚えるようにするため、レクなどケア中に得た情報(生活歴、趣味、嗜好、嫌いなこと等)を記録に残す。また家族にも聞き取る。観察した様子について、その状態と予測される本人の気持ちなどを具体的に記録し、他スタッフに伝えて情報共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">レクなどの時に暮らし方など質問や家族から知り得た情報を伝え、また嗜好や留意点などについては記録できていない。また基本情報や個別援助計画書は確認しているが、記録が少ないため生活歴などについては把握や理解を深めるまでには至らなかった。日々の様子の中で気づいたことなどは記録し、他職員にも伝えて情報共有できている。また都度記録を確認し、本人の様子や状況を把握することでスムーズにケアができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1人	6人	9人	1人	17人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8人	8人	0人	1人	17人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2人	11人	3人	1人	17人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9人	7人	0人	1人	17人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4人	10人	2人	1人	17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">体調の変化や本人の言葉を記録とチームで情報共有し、医療面は看護師の観察や処置、医療機関への受診対応している。ケアの面では、本人希望や咀嚼などの状況に合わせて、全粥や米飯、トロミなど食事提供を即時に変更対応している。また入浴や排泄の拒否がある利用者に対して、声掛けする言葉を工夫すること、声掛けするスタッフの交代、時間や日にちを振り替えるなど、柔軟な対応ができています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">カルテや日々の様子から生活環境の把握はできているが、生活歴などに関する情報把握の意識がないこと。介護中のコミュニケーションで知り得た以前の暮らし方や生活史についての記録ができていないこと、日常業務や介助対応に追われるため、特に担当以外の利用者の以前の暮らし方についての情報は多く把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">レクの実施にあたり、1日1回は嗜好など生活史を題材にした内容のレクを実施し、参加者から聞き出した情報はホワイトボードに書き込み、デジカメで写真を撮り記録に残す。送迎、入浴、食事介助中の表情や様子の観察し、生活史に関わる内容のコミュニケーションをとり、知り得た情報を記録する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 3月 13日 (17:30 ~ 18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者他 3名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">地域資源や民生委員について、役割や必要性などの理解を深めスタッフが共通認識を図り活用できるよう、ケアマネジャーが勉強会を企画し開催する。現在の生活スタイルを把握するため、日中や夜間の定期訪問時や巡回時の本人の様子を記録して共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">コロナ感染対策の観点から集合での勉強会ができなかった本人の生活や行動パターンは記録に残し共有できている。定期巡回等を含めて記録にできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5人	7人	3人	2人	17人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5人	7人	3人	2人	17人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	6人	8人	2人	1人	17人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4人	5人	4人	4人	17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍で面会が減っているが、必要物品の補充の連絡時など電話をした際、また家族からの差し入れなどの来訪時に利用者の普段の過ごし方や体調、外出の際は医療的留意点などを報告し、家族との関係が切れないう支援している。日中や夜間の訪問や定期巡回時、通りすがりの際に様子確認した内容を記録し共有することで、利用者同士のなじみの関係性を把握し、心地よい環境設定ができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">コロナ感染対策による入館制限をしていることで、面会等の機会がなくなったことや移動販売の利用により連絡頻度が減り、家族など地域との関係が希薄なってきたこと。また事前に把握した生活スタイルや人間関係は理解しているが、サービス開始以降に把握した状況の理解は十分ではない。コロナ感染対策により集合携帯の勉強会の開催ができなかったため、民生委員や地域の資源について理解できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍のため入館制限である中でも、ブログなどで利用者の様子などの情報発信を続けること。家族来訪時は様子の報告や聞き取りを行い、家族との関係が切れないう支援する。これまでの生活スタイルや人間関係等を理解するために、日々の状況等を詳細に記録するほか、レクの時間やコミュニケーションなどで知り得た情報を記録する。コロナ禍が落ち着いたら、民生委員や地域の資源についての勉強会をする。また勉強会の資料を配布し、スタッフ個人でも勉強する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 3月 25日 (17:00 ~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者他 3名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	2人	2人	17人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 個人の暮らしの情報シートを活用して本人に合わせた支援ができるよう、全員分の観覧ができるようにファイルを作成する。各担当が情報を取り直して挟む。 カンファレンスやミーティングに参加しやすい機会を作り参加者数が増えるよう、全体会議の日程を決めて夜勤、遅番以外は参加する。 記録漏れを防止するため、訪問チェック表を活用し変化を記録する。また記録や観察に関する勉強会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 観察が必要な状態であれば臨時で通いサービスを組むなど柔軟性を持つようにしている。 全体会議に参加しやすいよう日程を固定し、夜勤と遅番以外は参加することとして発言の場を作った。また現在は書面会議だが、事前に次第を作成し内容を把握できるようにしている。 ケアマネジメント、モニタリング(観察のポイントを含む)、記録の勉強会を開催したこと。また訪問チェック表を見直し活用後、記録漏れは減った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3人	4人	2人	8人	17人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11人	3人	2人	1人	17人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	10人	6人	0人	1人	17人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9人	7人	0人	1人	17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 1人1人の状況に応じて、家族の疲労状態等に合わせて、宿泊日程の変更や延期、迎え時間を変更し柔軟に対応した。また、転倒時など急変や様子変化時は宿泊室で経過観察するなど、職員間で情報共有しながら対応した。 日々の状況や様子を記録に入れているので状況の変化がみんなに周知されていたほか、モニタリングなどケアマネジメントについて都度ケアマネとの相談やミーティング、会議での情報共有がされている。 コロナ禍のため移動販売や訪問理美容を活用し支援できていた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源に関する勉強会は実施しなかったことや新型コロナのため外部研修もできなかったため、移動販売や訪問理美容以外の地域資源の活用ができなかった。 以前は食事準備や読み聞かせ、手品などのボランティアに来てもらっていたが、新型コロナによる入館制限したため、地域資源としてボランティアの活用は考えていたが、活用が難しくできなかった。 日常業務が忙しいため就業時間内に見返す機会がなかったこと、新入職員に周知されていないことなどから、個人の暮らしの情報シートの更新や見直しがされず、個別援助計画書作成に活用できなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、地域資源に関する勉強会が出来ない時には紙面にて周知する。 暮らしの情報シート未作成の利用者は速やかに作成する。また、すでに作成している利用者については、担当職員が他職員から新しく知り得た情報があるか確認し追記する。 コロナが収束した時には、またボランティアなどの地域資源を利用していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月18日(17:10~18:10)

6. 連携・協働

メンバー 管理者他4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	3人	12人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動やイベントを把握するために、回覧板が事業所まで廻るよう手配したり、地域推進運営会議でイベントの確認を行うようにして参加の検討ができるようにする。 回覧板に事業所の行事やイベントのお知らせを同封できるようにし、PRの場をつくる。 地域の住民が参加できるような行事を検討し、開催するときには参加を勧めるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板は廻ってきていたが、新型コロナウイルス感染対策の観点から地域の行事が軒並み中止となったため参加の検討は行えなかった。また、事業所内での行事開催を自粛したり、入館制限をしたため事業所PRや地域住民が参加できるような行事開催はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4人	1人	2人	10人	17人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3人	1人	0人	13人	17人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2人	0人	0人	15人	17人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2人	0人	0人	15人	17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で担当者会議を最少人数で開催する事が多いが、事前に意見照会し連携を図っている。 会議は行っていないが、訪看や医療機関とバイタルリンクを活用して情報共有は行っている。 コロナ禍でも地域推進運営会議は書面での確認をしており、事業所の状況を報告できる状態を保っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染予防のため外部交流やイベント等が中止されていた。 コロナ禍の影響により、地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントの開催・参加自粛。また、開催スケジュールが把握できていない。(開催されているかどうか不明) 各サービス機関の会議について、小多機スタッフとしての役割を理解していなかったことや、会議が行われているということもわかっておらず、また参加する機会もなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> サービス機関の会議について、小多機スタッフとしての役割をオンライン勉強会など活用し、一人一人理解が深められるようにする。 書面開催も踏まえながら引き続き地域推進運営会議を行い、コロナ禍でも行える地域との連携方法はどのようなものがあるかを検討する。 コロナウイルスの情勢を見ながら行事等を通して地域との交流が行えるか検討する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月30日 (17:00~17:45)

7. 運営

メンバー 管理者他3名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	1人	12人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・焼き肉やゴミ拾いなど地域の方と関わりを増やし、事業所への出入りを増やす。地域の方と利用者と一緒に行事に参加できるようにイベントを企画し実行する。 ・2ヶ月に1回の参加は難しいため、参加した職員は全体会議にて地域推進運営会議の内容を報告し周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議は議事録を作成後に確認するようスタッフへ周知している。また、意見や苦情があった時には管理者へ報告している。 ・コロナ禍の影響により地域住民参加型のイベントを自粛しているため、焼肉やゴミ拾いなど地域の方と関わるイベントの企画、参加ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3人	7人	2人	5人	17人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4人	8人	2人	3人	17人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4人	5人	0人	8人	17人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3人	2人	5人	7人	17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・意見や苦情があった時は必ず上司やリーダーに報告をし、自身でも満足の頂ける支援に努めるようにしている。 ・全体会議以外にも、日常的に検討が必要なことについては、連絡ノート等を活用し意見や検討案を提言している。 ・職員として意見を言い、利用者や家族から苦情がきたら全体に周知している。 ・地域推進運営会議は書面会議としているが、回覧にて意見を聞き取るようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで行事などが中止になって地域と協働した取り組みに参加できていない。 ・新型コロナ感染対策の観点から、外部の入館制限等の対応をしているため、地域と協働した取り組みは行えなかった。 ・利用者、家族からの苦情がどのようなことがあるのかわからない。また、職員同士で意見を述べ合う場がない。お互いに遠慮して意見を言い合っていない。 ・コロナで会議もできなくなり、意見を言う場が少なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの情勢を見ながら、書面やオンラインを活用するなどして引き続き地域推進運営会議に地域住民が参加できるようにし、意見の確認ができるようにする。 ・三密を回避しながら職員が意見を出せる場がもてるようにする。そのために、職員が意見を出しやすい環境になるような配慮をする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 8 日 (17 : 15 ~ 18 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 副主任他 3 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	4 人	3 人	2 人	16 人

前回の改善計画

- ・インシデント、アクシデント報告書の記載について勉強会を開催し、理解を深めて速やかに報告書の作成ができるようにする。
- ・インシデント、アクシデント発生当日に勤務しているスタッフでカンファレンスを開催できるように、業務マニュアルにリーダーが指示出しを行う様追記し、より有効な再発防止策の立案に繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・インシデント、アクシデント報告書の記載に関する勉強会に参加し、理解を深めることができています。
- ・発生日にカンファレンスを開催し、当日のスタッフ全員で対応策を立案していた。また、評価日も決めて、対策案の評価も実施できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	7 人	7 人	1 人	2 人	17 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7 人	4 人	3 人	3 人	17 人
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	0 人	2 人	14 人	17 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	9 人	6 人	1 人	1 人	17 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍であるため職場外のものでは中止になったりしているが、職場内においては密を避けるなどの配慮の元、勉強会等を行えている。
- ・実務者研修の取得のための受講に参加させてもらえる環境にある。
- ・リスクを想定しながら業務にあたるよう心掛けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域連絡会というものがどのようなものなのか自身とのかかわり方について理解できてなく参加の機会がなかった。
- ・地域連絡会の内容や目的の理解不足 (地域推進運営会議との違い) や、新型コロナ感染対策の観点から、集合形態で実施していないため参加の機会そのものが無い。
- ・コロナ情勢で外部研修が行われず、中止になっており参加機会はなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・外部研修について、オンライン開催や集合形態など徐々に再開している様子もあるので、開催状況を確認しながら参加ができるようにする。
- ・地域連絡会について、勉強会や資料の配布を通して学びを深められるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月7日(17:15~18:15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 副主任他3名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	5人	1人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄の声掛けは、全員に一齐に案内の声掛けをしてから、個別に周囲に聞こえないよう耳元で声掛けする。 ・スタッフの意識を高められるよう、「大きな声をださない」と書いた貼り紙をする。 ・声掛けや誘導の成功例を記録に残すことで、スタッフで情報共有し、プライバシーに配慮した支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄への声掛けは他者に聞こえないトーンで行い、日常的に大声は慎むようにしている。 ・入浴拒否の対応について、各スタッフに具体的な声掛けや関わりを記録してもらい、検討して対応でき、プライバシーに配慮した声掛けができるよう対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13人	3人	0人	1人	17人
②	虐待は行われていない	13人	4人	0人	0人	17人
③	プライバシーが守られている	7人	8人	2人	0人	17人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5人	5人	1人	6人	17人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11人	4人	1人	1人	17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド柵など拘束することは行っていないなど、身体拘束・虐待はなく、職員全員で意識して日々の業務にあたっている。 ・記録に残す際、個人名で書くのではなく、頭文字をとって「S氏」、「Sさん」などの書き方をしたり、メモは使用後必ずシュレッダーで破棄するなどして利用者のプライバシーは守られている。 ・排泄有無については、他の人に聞こえないように配慮している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・フロア内に一人しかいないことが多いため、業務に追われ忙しい時に「危ないから座って」と立っているだけの人いきなり声掛けをしたり、動きの多い利用者があるため、大きな声を出したりと雑な声掛けになっていることが多く見られる。 ・成年後見人制度の活用にあたっては、管理者やケアマネジャーが関わる事だと思っていて介護職員が携わることもあるのかというところが分かっていないため、機会がなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・フロア職員が二人以上配置できるよう業務の見直しを検討し、ゆとりある対応に繋がるようにする。 ・次年度も包括支援センターに成年後見人制度についての勉強会開催を打診し、理解が深められるようにする。また、勉強会の様子を録画するなどして全員で共有ができるようにする。 	